



カラオケアンプ
BEYOND1

取扱説明書

Ver. 1.1



安全に関する重要な項目

- 天板を開けてメンテナンスを行ったりしないでください。
- 機器の筐体を開けた場合、保証は無効となります。
- 雨や湿気にさらさないでください。
- 万が一、液体が混入した場合には、直ちに電源をOFFにしてください。
- 雷雨の場合は、機器の破損を防ぐために電源をOFFにし、コンセントから電源コードを抜いてください。

安全記号の説明

 <p>取扱説明書に重要な操作方法や注意事項が記載されています。</p>	 <p>パワーアンプ内に「高電圧」があり、感電する可能性があります。</p>
---	---

安全上の注意

1. 取扱説明書はいつでも参照できるように、分かりやすい場所に保管してください。
2. すべての警告に従ってください。
3. この取扱説明書に従って操作してください。
4. 機器の周囲でスプレーを使用した作業をしないでください。液体の入った容器を機器の上に置かないでください。
5. 機器の清掃には、乾いた布のみを使用してください。
6. 通風口を塞がないでください。
7. 機器の設置は取扱説明書の指示に従ってください。
8. ストーブなどの熱源（他のパワーアンプ等を含む）の近くに機器を設置しないでください。
9. メーカーが指定したアクセサリを使用してください。
10. 機器を長時間使用しない場合は、電源コードを抜いて保管してください。
11. 電源コードを踏んだり、押しつぶさないように注意してください。
12. 可動式キャビネットを使用する場合は、キャビネットや機器が転倒しないように注意してください。
13. ケーブルやプラグの破損、異物や液体および異常な湿気の侵入、異常な動作や機器の落下などのような状況が発生した場合には、販売店に連絡してください。
14. AC100V ~ 240V、50/60Hzの電源を使用してください。

目次

安全に関する重要な項目	02
製品概要	04
各部の名称	05
フロントパネル	05
リアパネル	06
メイン画面	07
音楽入力信号の選択	07
音楽／エフェクト／マイクの音量調整	08
音楽設定	08
エフェクト設定	09
マイクの設定	11
操作モード呼び出しと保存	12
Bluetoothの設定	16
リモコンについて	18
周辺機器との接続	19
メニュー構成	22

はじめに

この度はJBL BEYOND1カラオケアンプをお買い上げいただきありがとうございます。

この製品は、カラオケの他に小規模な業務用アンプの用途にも使用可能。プロ仕様のデジタル・オーディオ・エフェクト・プロセッサーを内蔵し、音作り、音の微調整、音質向上などに最適です。

マイク入力用フォン端子をフロントパネルとリアパネルに3つ、アナログ信号入力用のRCA端子を2系統、光デジタル端子を1系統、デジタル信号入力用のHDMI端子を2系統、デジタル信号出力用のHDMI端子（ARC）端子を1系統と、音楽信号を接続するための多彩な端子を装備。また、BluetoothやUSBメモリーによる再生機能にも対応しており、多様な用途に応えます。

製品概要

主な機能

- 高効率Class-Dパワーアンプと、プロ仕様のオーディオ・エフェクト・プロセッサーを内蔵
- 3段階のフィードバック防止設定が可能
- キーチェンジ機能搭載
- 8つのプリセットモード
- リバースとエコーを独立してコントロール
- 音源入力用に2系統のRCAコネクタと光コネクタを装備
- Bluetooth/USBメモリーを使用して、音源を再生可能
- HDMI入力端子×2、HDMI出力端子×1 (ARC対応)、マイク入力用15バンド・パラメトリック・イコライザー搭載
- 音源入力用15バンド・パラメトリック・イコライザー搭載
- スピーカー出力端子を装備 (L+R)
- アクティブ・サブウーファーとの接続に使用するSUB出力端子
- 追加のパワーアンプやオーディオ機器を接続するAUX出力端子
- システム保護のためのコンプレッサーを搭載したスピーカー出力端子
- カラオケルームのセントラル・コントローラー・システムやスマートハウス・システムとの接続に使用する3.5mm RS232通信コネクタを1個装備
- システムの微調整をサポートするPC制御ソフトウェア

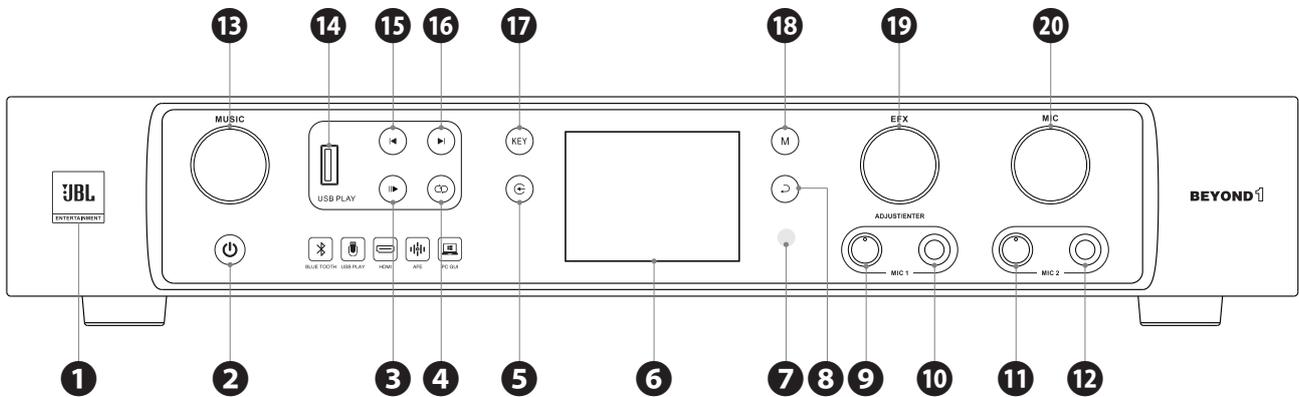
同梱品

- BEYOND1 本体 × 1
- 電源コード × 1
- ブラケット・アクセサリ × 2
- リモコン × 1
- ユーザーマニュアル × 1
- 環境保護に関する説明書 × 1
(Instructions for Environmental Protection)

- 機器を受け取った後、すぐに開梱して輸送による機器の損傷がないかを確認してください。
- 損傷があった場合は、直ちに販売店に連絡してください。
- 到着した機器に損傷があった場合は、輸送会社の検査のために輸送箱を保管しておいてください。
- 輸送のために、すべての梱包材を保管することを、おすすめします。

各部の名称

フロントパネル



① JBLロゴ

機器の起動時に点灯します。

② 電源スイッチ

コンセントが接続されているときは緑色に点灯しスタンバイモードであることを示します。短く押すと起動し白色点灯に変わります。再度短く押すとスタンバイモード(緑色に点灯)に戻ります

③ 再生/一時停止

USBメモリー内の音楽を再生します。このボタンを押すことで、再生と一時停止を切り替えます。

④ ループ再生

USBメモリーの音楽再生時にこのボタンを押すと、1曲のみ連続再生、指定リスト連続再生、全曲連続再生が順次切り替わります。

⑤ 音楽入力チャンネル

このボタンを押し、「ADJUST/ENTER」ノブを回して、使用する入力チャンネルを選択し、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込んで入力チャンネルを決定します。

⑥ LCDディスプレイ

機器の現在の設定や操作メニューなどを表示します。

⑦ IR

リモコン信号を受信します。

⑧ Back

メイン画面に戻ります。

⑨ MIC1ノブ

マイク1の入力レベルを調整します。

⑩ MIC1入力 (TRSフォン)

⑪ MIC2ノブ

マイク2の入力レベルを調整します。

⑫ MIC2入力 (TRSフォン)

⑬ MUSIC

音声(入力音源)の音量を調整します。このノブを押し込むと設定画面に入ります。

⑭ USB PLAY

USBメモリーを挿入し、入力をUSB/BTに設定することで、USBメモリーの曲を再生できます。

⑮ ◀

USBメモリーの曲を再生中に押すと、前の曲が再生されます。

⑯ ▶

USBメモリーの曲を再生時に押すと、次の曲が再生されます。

⑰ KEYボタン

曲の再生時にこのボタンを押し「ADJUST/ENTER」ノブを回すと音楽のキーを調整できます。(曲が再生されていないときは動作しません)

⑱ Mボタン

このボタンを押し、「ADJUST/ENTER」ノブを回すと、モードを選択できます。また、このボタンを長押しすると、モード保存画面に入ります。

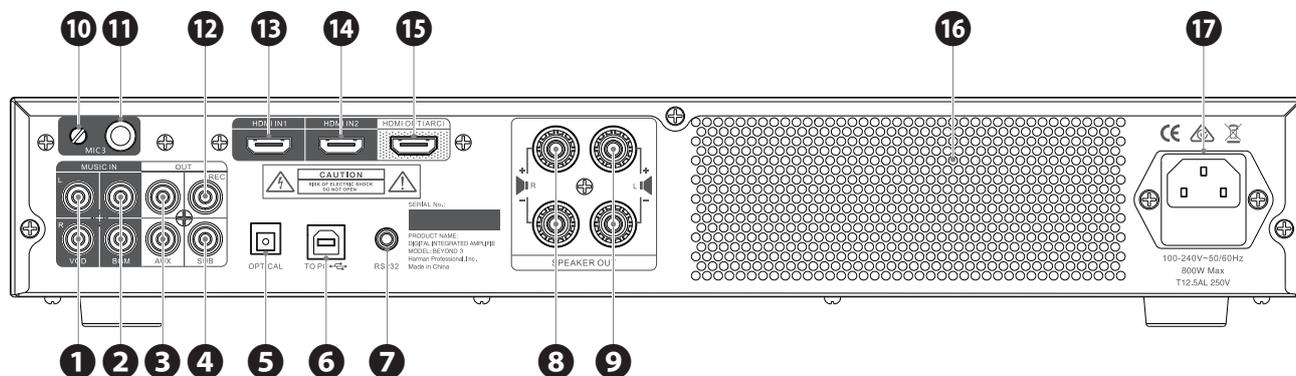
⑲ EFXボタン

ノブを回し、エフェクト量を調整します。このノブを押し込むと、エフェクトの設定画面に入ります。

⑳ MICボタン

ノブを回し、マイクの音量を調整します。このノブを押し込むと、マイクの設定画面に入ります。

リアパネル



① VOD (RCA)

音楽信号 (ステレオアナログ信号) を入力します。

② BGM (RCA)

音楽信号 (ステレオアナログ信号) を入力します。

③ AUX (RCA)

AUX信号 (ステレオアナログ信号) を出力します。

④ SUB (RCA)

サブウーファー信号 (モノラルアナログ信号出力) を出力します。

⑤ OPTICAL

光デジタル信号を入力します。

⑥ USB (Type-B)

PCに接続して機器のコントロールに使用します。

⑦ RS 232 (3.5mm)

スマートデバイスとの接続に使用します。

⑧ SPEAKER OUT 右チャンネル出力

右スピーカーとの接続に使用します。

⑨ SPEAKER OUT 左チャンネル出力

左スピーカーとの接続に使用します。

⑩ MIC 3

マイク3の入力ゲインを調整します。

⑪ MIC 3 (TRSフォン)

マイク3の入力端子です。

⑫ REC (RCA)

音声信号 (アナログ信号出力) です。

⑬ HDMI 1 入力

⑭ HDMI 2 入力

⑮ HDMI 出力 / HDMI ARC

⑯ ファンの排気口

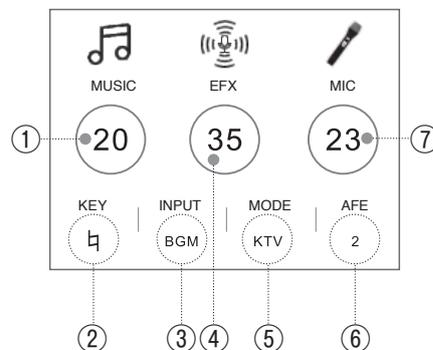
⑰ 電源入力端子

メイン画面

起動後しばらく待つと、メイン画面が下の図のように切り替わります。

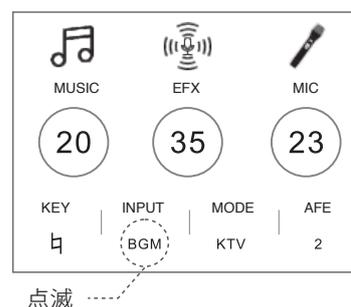
以下、この表示の場合の説明です。

- ① 音声（入力音源）の音量が『20』に設定されています。
- ② 音程（キー）が『㇀』になっています。
- ③ 信号入力チャンネルは『BGM』に設定されています。
- ④ エフェクト音量は『35』に設定されています。
- ⑤ モードは『KTVモード』に設定されています。
- ⑥ マイクのハウリング抑制は『レベル2』に設定されています。
- ⑦ マイクの音量は『23』に設定されています。



音声入力信号（音源）の選択

1. フロントパネルの  ボタンを押します。
2. 右図のように、メイン画面下部の『BGM』入力アイコンが点滅します。
3. 「ADJUST/ENTER」ノブを回して希望の入力チャンネルを選択し、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込んで選択を確定します。
4. 音楽入力アイコンの点滅が止まり、選択した入力チャンネルが表示されます。



※本機は、7種類の音楽入力チャンネル（VOD、BGM、OPT、USB/BT、HDMI1、HDMI2、ARC）から選択できます。

注意

しばらく操作としないと、アイコンが点滅が止まり、操作前の設定に戻ります。
このとき、「ADJUST/ENTER」ノブを回しても音源の選択操作ができなくなります。
（この場合は、最初から操作をやり直してください）

音源／エフェクト／マイクの音量調整

●音源の音量調整

メイン画面で、「MUSIC」ノブを直接回して音量を調整します。サブメニューに入っているときも、「MUSIC」ノブを回すと強制的にメイン画面に戻り、音量を調整します。

●エフェクト量の調整

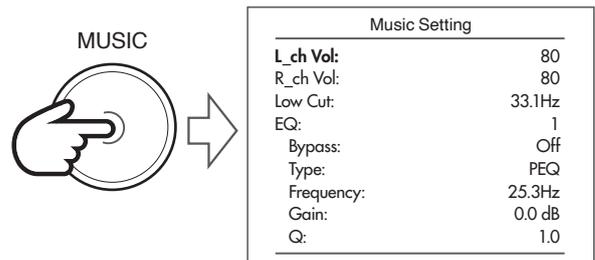
メイン画面の「EFX」ノブを直接回して、エフェクトの音量を調整します。サブメニューに入っているときは、メイン画面に戻ってから調整をします。

●マイクの音量調整

メイン画面で「MIC」ノブを直接回してマイクの音量を調整します。サブメニューに入っているときも、「MIC」ノブを回すと強制的にメイン画面に戻り、音量を調整します。

音源設定

1. 「MUSIC」ノブを押し込むと、右図のようなミュージック・セットアップメニューが表示されます。
2. 「ADJUST/ENTER」ノブを回すとメニューが黄緑色に変わります。
3. 変更したいメニュー項目を選び、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込みます。
4. 「ADJUST/ENTER」ノブを回してパラメータの値を変更し、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込んで確定させます。

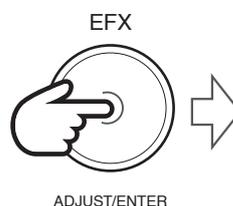


ミュージック・セットアップメニューとパラメータ値は以下の通りです

メニュー	説明	値の範囲
L_ch Vol	左チャンネルの音量	0～80
R_ch Vol	右チャンネルの音量	0～80
Low Cut	音源出力における低音域のカット	19.7～303Hz
EQ	EQバンド (15バンド)	1～15
Bypass	Offに設定＝EQの設定は有効 Onに設定＝EQの設定は無効	Off, On
Type	EQタイプの選択。 PEQ (パラメトリックEQ)、 LS (ローシェルフEQ)、 HS (ハイシェルフEQ)	PEQ, LS, HS
Frequency	選択したEQバンドの中央値	19.7Hz～20.2kHz
Gain	選択したEQバンドのゲイン	−24dB～+12dB
Q	選択したEQバンドのバンド幅	PEQ: 0.4～128, LS/HS: 0.4～2.0

エフェクト設定

1. 「FEX」ノブを押し込むと、右図のようなエフェクト設定メニューが表示されます。
2. 「ADJUST/ENTER」ノブを回すとメニューが黄緑色に変わります。
3. 変更したいメニュー項目を選び、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込みます。
4. 「ADJUST/ENTER」ノブを回してパラメータの値を変更し、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込んで確定させます。



Effect Setting	
Echo Vol:	100%
Echo DirVol:	70%
Echo Low Cut:	80.3Hz
Echo High Cut:	11.5K
Echo PreDly:	22ms
Echo Delay:	228ms
Echo Repeat:	53%
Echo PreDly R:	0%
Echo Delay R:	0%
Echo Decay:	8.31K

エフェクトの設定メニューとパラメータ値は以下の通りです

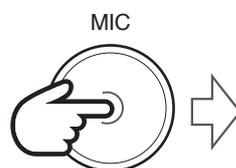
メニュー	説明	値の範囲
Echo Vol	エコーの音量	0% ~ 200%
Echo DirVol	エコーダイレクト音量	0% ~ 200%
Echo Low Cut	エコー低域周波数のカット	Off、19.7Hz ~ 303Hz
Echo High Cut	エコー高域周波数のカット	5.99kHz ~ 20.2KHz
Echo PreDly	エコー・プリディレイタイム	0ms ~ 60ms
Echo Delay	エコー・ディレイタイム	0ms ~ 260ms
Echo Repeat	前のエコーに対する各エコーの量	1% ~ 90%
Echo PreDly R	右チャンネルのエコー・プリディレイタイム	0% ~ 50%
Echo Delay R	右チャンネルのエコー・ディレイタイム	-50% ~ +50%
Echo Decay	エコーが減衰し始める周波数	5.99kHz ~ 20.2kHz
Rev Vol	マイクのリバース量	0 ~ 200%
Rev DirVol	マイクのリバースダイレクト音量	0 ~ 200%
Rev LowCut	リバース低周波のカット	19.7 ~ 303Hz
Rev HighCut	リバース高周波のカット	5.99k ~ 20.2kHz
Rev PreDly	リバースのプリディレイタイム	0 ~ 80ms
Rev Time	リバース時間	0 ~ 9200ms

※以下は、PC経由で操作できる項目です

メニュー	説明	値の範囲
Echo equalization	エコーの5バンド・イコライザー	タイプ: PEQ、LS、HS 周波数: 19.7Hz ~ 20.2kHz ゲイン: -24dB~+12dB Q: 0.4 ~ 128 (PEQ)、 0.4 ~ 2.0 (LS/HS)
Reverberation equalization	リバーブの5バンド・イコライザー	タイプ: PEQ、LS、HS 周波数: 19.7Hz ~ 20.2kHz ゲイン: -24dB~+12dB Q: 0.4 ~ 128 (PEQ)、 0.4 ~ 2.0 (LS/HS)
Early reflection volume	リバーブの初期反射量	0 ~ 80
Early high frequency damping	リバーブが減衰を開始する 初期高周波の周波数	5.99k ~ 20.2kHz
Late reflection volume	リバーブの後期反射量	0 ~ 80
Late high frequency damping	リバーブが減衰を開始する 後期高周波の周波数	5.99k ~ 20.2kHz
Reverberation space	リバーブ空間	25 ~ 75%
Reverberation density	リバーブ密度	1 ~ 90%
Reverberation damping	リバーブが減衰を開始する高域周波	5.99k ~ 20.2kHz

マイクの設定

1. 「MIC」ノブを押し込むと、右図のようなセットアップメニューが表示されます。
2. 「ADJUST/ENTER」ノブを回すとメニューが黄緑色に変わります。
3. 変更したいメニュー項目を選び、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込みます。
4. 「ADJUST/ENTER」ノブを回してパラメータの値を変更し、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込んで確定させます。



Effect Setting	
Low Cut:	45.1Hz
High Cut:	off
EQ:	1
Bypass:	Off
Type:	PEQ
Frequency:	25.3Hz
Gain:	0.0 dB
Q:	1.0

Microphone Setupメニューとパラメータ値は以下の通りです

メニュー	説明	値の範囲
Low Cut	マイクの低域周波数の下限値	off、19.7 ~ 303Hz
High Cut	マイクの高域周波数の上限値	5.99kHz ~ 20.2kHz、off
EQ	操作するEQバンド (15バンド)	1 ~ 15
Bypass	Offに設定=EQの設定は有効 Onに設定=EQの設定は無効	Off, On
Type	EQタイプの選択。 PEQ (パラメトリックEQ)、 LS (ローシェルフEQ)、 HS (ハイシェルフEQ)	PEQ、LS、HS
Frequency	イコライジングの中心周波数	19.7Hz ~ 20.2kHz
Gain	イコライジングのゲイン	24 ~ +12dB
Q	イコライジングの帯域幅	0.4 ~ 128 (PEQ) ; 0.4 ~ 2.0 (LS,HS)

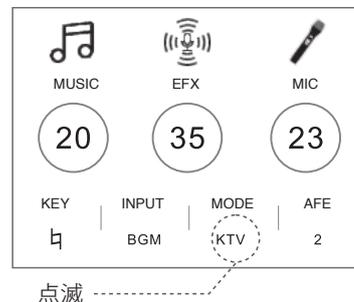
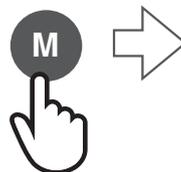
※以下は、PC経由で操作できる項目です

Compression_start-up time	スレッシュホールドを超えてからコンプレッションを開始するまでの時間	0.5ms ~ 100ms
Compression_compression ratio	コンプレッサーの圧縮率	1.0 ~ 100
Compression_start-up level	コンプレッサーのスレッシュホールド (しきい値)。圧縮を開始させる音量	40 ~ 0dBu
Compression_release time	音量がスレッシュホールドを下回ってから圧縮を終了させるまでの時間	10ms ~ 2000ms

モード呼び出しと保存

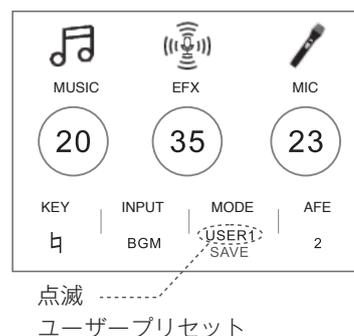
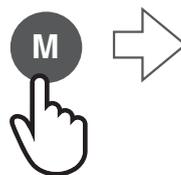
●モードの呼び出し

1. フロントパネルの「M」ボタンを短く押します。
右図のように、メイン画面下部のモードアイコン (MODE) が点滅します。
2. 「ADJUST/ENTER」ノブを回して、呼び出したい動作モードを選択し、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込んで設定します。
3. モードのアイコンの点滅が止まり、設定されたモードが表示されます。



●モードの保存

1. フロントパネルの「M」ボタンを長押しします。
メイン画面下部のモードアイコン (MODE) が点滅し、アイコンの下に右図のように『SAVE』と表示されます。
2. 「ADJUST/ENTER」ノブを回して、保存したいモード (USER1 ~ 5) を選び、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込んで保存します。
3. モードアイコンの点滅が止まり、『SAVE』が消えます。

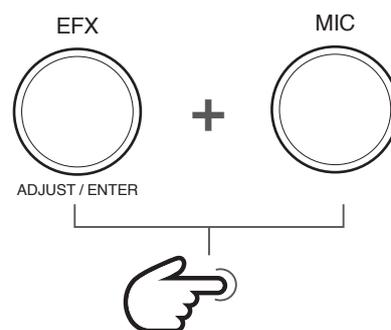


注意

ユーザー設定は、USER1 ~ USER5に保存可能です。
KTV、PRO、SPCHのモード設定は固定されており、上書き保存はできません。

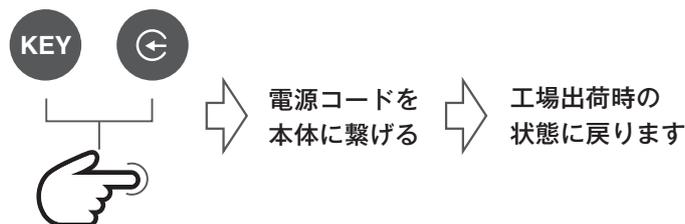
パネルボタン/ノブのロック設定

1. 「ADJUST/ENTER」ノブと「MIC」ノブを同時に3秒間押し続けると、『Front Panel Buttons Lock』と表示され、パネルのつまみやボタン (電源ボタンを除く) がロックされ、つまみやボタンを回したり押ししたりしても機能しない状態になります。
2. ロックを解除するには、「ADJUST/ENTER」ノブとMICノブを同時に3秒間、再度押し続けます。(『Front Panel Buttons Unlock』と表示されます)



工場出荷時の設定に戻す

1. 操作を行う前に、電源コードを本体から抜いてください。
2. 「KEY」ボタンと  ボタンを押したまま電源コードを挿入してください。
3. 本機が自動的に工場出荷時の状態に戻り、電源スイッチの緑のランプが点滅します。
4. 復元が完了すると、本機はスタンバイ状態になり、画面が消え、緑のインジケーターが点灯に変わります。



注意

工場出荷時の設定に戻すと、ユーザーが設定したパラメーターはすべて消去され、工場出荷時の設定に戻ります。

PCによるコントロールとファームウェア・アップデート

本製品とPCをUSBコネクタで接続し、オペレーションソフトウェア(PC-GUI)を使って操作したり、ファームウェアのアップデートを行うことができます。

● オペレーションソフトのインストール手順

1. JBLのWEBサイト (<https://www.jblpro.com/zh>) にアクセスしてください。
2. エンターテイメント製品の 카테고리に入り、BEYONDシリーズのdigital integrated amplifiersを選択。
3. オペレーションソフトをダウンロードします。
4. PCのUSB端子に、USBケーブルを使用して本製品を接続します。
5. オペレーションソフトにログインします。

● ファームウェアのアップデート手順

1. JBLのWEBサイト (<https://www.jblpro.com/zh>) にアクセスしてください。
2. エンターテイメント製品の 카테고리に入り、BEYONDシリーズのdigital integrated amplifiersを選択。
3. ファームウェアのアップデートファイルをダウンロードします。
4. PCのUSB端子に、USBケーブルを使用して本製品を接続します。
5. firmware update fileを実行します。
6. プロンプトが表示されたら、本製品を再起動してください。

RS232インターフェースとプロトコル

●データ・フォーマット

アイテム	フレームヘッダー	アイテムID	サブアイテム	パラメータ	SumCRC
バイト	(0xFE)1	1	1	1	1

●SumCRC

すべてのCRCデータの合計であるチェックサム。crc=data1+data2+data3+...

注：SumCRCが0xFE(16進)以上の場合、SumCRCは0に設定されます

●フレームの長さ

7バイトの場合、チェックバイトを含み、6バイトの場合、チェックバイトは含まれません。

●パラメータの幅

パラメータが2バイトの場合、ビッグエンディアンモード(上位バイトが最初)になります。

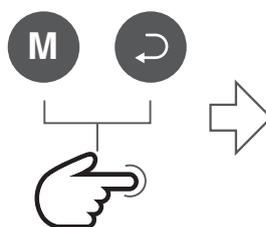
例えば、400(0x0190)→0x010x90で、FE0701019098と表示されます。

機能コードの表

機能	アイテムID	サブアイテム	パラメーター	説明
電源のON/OFF	0x01	0x01	0x0000	1: オン/パワーオン 0: オフ/シャットダウン/スタンバイ
ミュート	0x02	0x01	0x0000	1: ミュート 0: ミュート解除
プリセットモードの切り替え	0x03	0x01	0x0000	1: KTV 2: PRO 3: SPCH
プリセットモードの切り替え (サイクリックモード)	0x03	0x02	0x0000	0: 次のモードに切り替える
ユーザーモードの切り替え	0x03	0x03	0x0000	1: ユーザー 1 2: ユーザー 2 3: ユーザー 3 4: ユーザー 4 5: ユーザー 5

システム設定

1. 「M」ボタンと  ボタンを同時に押すと、右図のようなシステムセットアップメニューが表示されます。
2. 「ADJUST/ENTER」ノブを回すとメニューが黄緑色に変わります。
3. 変更したいメニュー項目を選び、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込みます。
4. 「ADJUST/ENTER」ノブを回してパラメータの値を変更し、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込んで確定させます。



System Setting	
MSC InitVol:	10
MSC MaxVol:	40
MIC Init Vol:	20
MIC Max Vol:	45
EFX Init Vol:	20
EFX Max Vol:	60
MIC AFE:	Off
IR Switch:	On
Brightness:	2
Init Mode:	KTV

システムセットアップメニューとパラメーター値は以下の通りです。

メニュー	説明	値の範囲
MSC InitVol	電源を入れた時の音楽音量	0 ~
MSC MaxVol	使用時の最大音楽音量	~ 80
MIC Init Vol	電源を入れた時のマイク音量	0 ~
MIC Max Vol	使用時のマイクの最大音量	~ 80
EFX Init Vol	電源を入れた時のエフェクト量	0 ~
EFX Max Vol	使用時の最大エフェクト量	~ 80
MIC AFE	ハウリング抑制の強さ（値が大きいほど効果が強い）	OFF・1・2・3
IR Switch	IRレシーバー機能のON/OFF	OFF・ON
Brightness	画面の明るさ（値が大きいほど明るい）	1・2・3
Init Mode	電源を入れた時のモードを設定 AUTO: シャットダウン前に選択したモードを自動的に選択	AUTO、KTV、PRO、SPCH、USER1 ~ USER5
SPK Model	外部スピーカーのモデルを設定	プリセットされているスピーカーはモデルによって異なります
SYS IM	アンプの負荷インピーダンスを設定	8Ω・4Ω
BT Switch	Bluetooth機能のON/OFF	Off、On
BT Name	Bluetooth名の変更（最大10バイト）	A ~ Z・0 ~ 9・-・-・_
Language	ディスプレイの表示言語	Chinese、English
SYS Ver	ファームウェアバージョン	

Bluetoothの設定

● Bluetoothのペアリング

1. 本体のシステム設定画面からBluetoothをオンにしてください。その際、Bluetoothの名前 (BEYOND1) をメモしておいてください。
2. ターゲット・デバイス (スマートフォン等) で本製品のBluetooth名を検索し、ペアリングします。
3. 正常にペアリングされると、Bluetoothで音楽を再生することができます。

注: 工場出荷時にはBluetoothがオフになっています

● Bluetoothのネーミング

1. 本体のシステム設定画面から『Bluetooth Name』を選択してください。
2. 「ADJUST/ENTER」ノブを回して任意の文字を選択し、「ADJUST/ENTER」ノブを押し込んで文字を確定させてください。
3. 名前が入力が終わったら「ADJUST/ENTER」ノブを長押しして、新しい名前を確定させます。

● Bluetooth / USBから音楽を再生

音楽入力モードを『USB/BT』に設定します。USBメモリーを本機に挿入すると、自動的にUSBメモリー内の音楽ファイルを再生します。

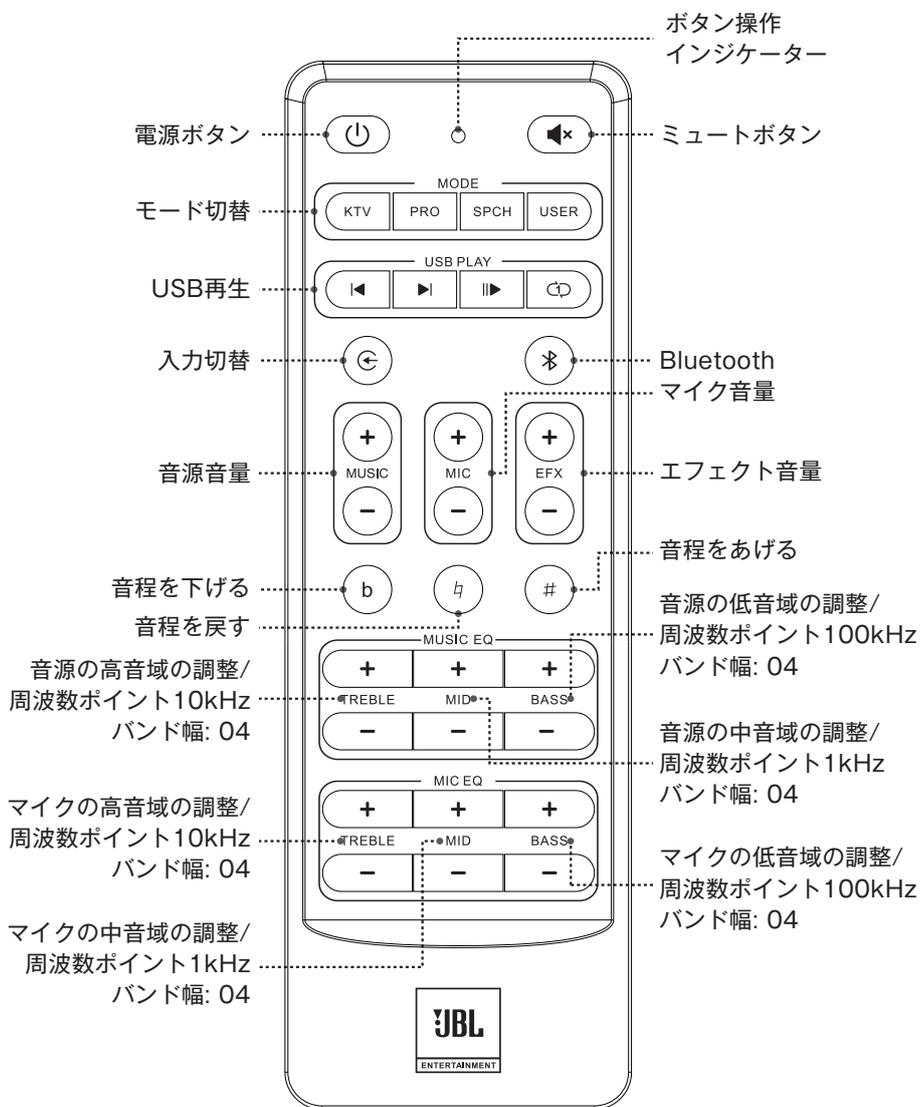
初期設定では、USBメモリー上の音楽ファイルが優先的に再生されます。Bluetoothで音楽を再生しているときに、USBメモリーを挿入すると、USBメモリー内の音楽ファイルの再生に切り替わります。

サポートするUSB ファイルシステム	ファイル形式	最大容量
FAT16、FAT32、 ExFAT/Fat64	MP3、WAV、APE、 FLAC、WMA	32GB

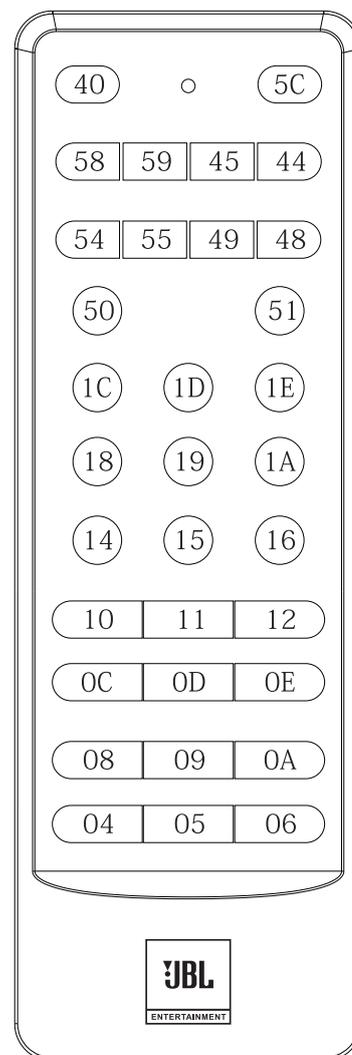
機能	アイテムID	サブアイテム	パラメーター	説明
ユーザーモード切り替え (サイクリックモード)	0x03	0x04	0x0000	0: 次のモードに切り替える
入力信号の切り替え	0x04	0x01	0x0000	1: VOD 2: BGM 3: OPT 4: USB/BT 5: Hdmi1 6: Hdmi2 7: ARC
入力信号を切り替え (サイクリックモード)	0x04	0x02	0x0000	0: 次の信号に切り替える
Bluetooth	0x05	0x01	0x0000	1: オン 0: オフ
音楽の音量調整	0x06	0x01	0x0000	1: mus+ 0: mus-
音量設定	0x06	0x02	0x0000	音楽の音量値
マイクの音量調整	0x07	0x01	0x0000	1: マイク+ 0: マイク-
マイクの音量設定	0x07	0x02	0x0000	マイクの音量値
エフェクトの音量調整	0x08	0x01	0x0000	1:efx+,0:efx-
エフェクト音量の設定	0x08	0x02	0x0000	エフェクト音量値
音色の調整	0x09	0x01	0x0000	音色を表す値
音色を切り替える (サイクリックモード)	0x09	0x02	0x0000	0: オリジナルトーン 1: サイクリックモードでb1~b3切替 2: サイクリックモードで#1~#3切替
音楽高音域の音量調整	0x10	0x01	0x0000	0: - 1: +
音楽中音域の音量調整	0x10	0x02	0x0000	0: - 1: +
音楽低音域の音量調整	0x10	0x03	0x0000	0: - 1: +
マイク高音域の音量調整	0x11	0x01	0x0000	0: - 1: +
マイク中音域の音量調整	0x11	0x02	0x0000	0: - 1: +
マイク低音域の音量調整	0x11	0x03	0x0000	0: - 1: +
USB再生	0x12	0x01	0x0000	0: 一時停止 1: 再生
USB再生-曲の切り替え	0x12	0x02	0x0000	0: 次の曲 1: 前の曲
USB再生-シングル再生	0x12	0x03	0x0000	0: シングル再生のキャンセル 1: シングル再生の設定
USB再生-リスト再生	0x12	0x04	0x0000	0: リスト再生のキャンセル 1: リスト再生の設定
USB再生-連続再生	0x12	0x05	0x0000	0: 連続再生の設定

リモコンについて

リモコンの機能



コントロールコード



通信: IRDAの標準プロトコル
 ユーザーコード: 00FF
 バッテリー: 単4乾電池×2

周辺機器との接続

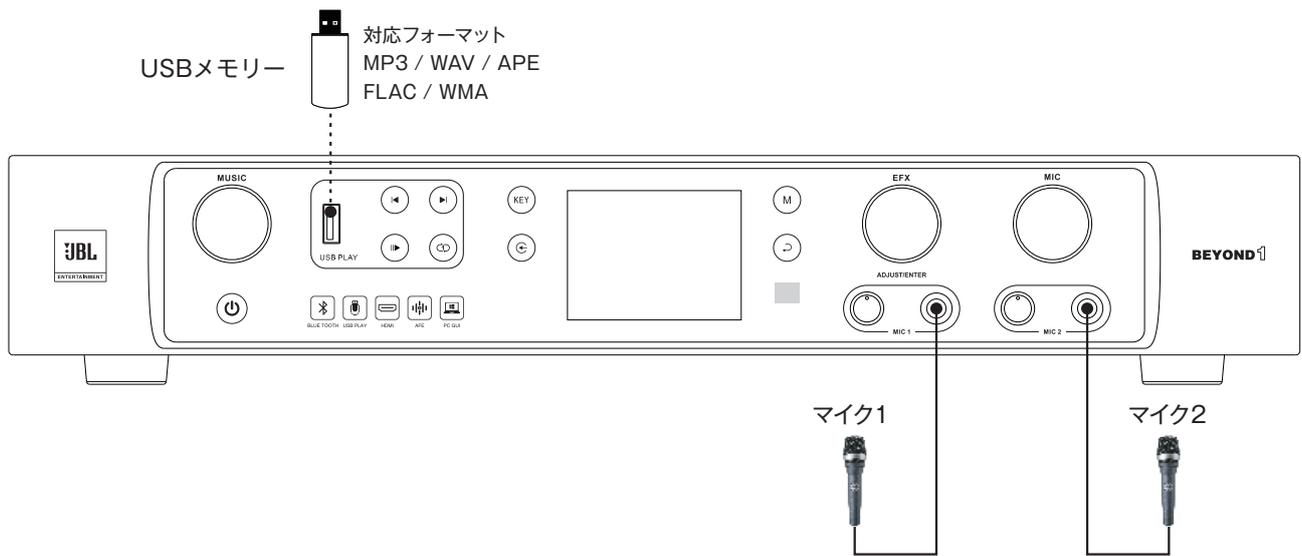
接続時の注意点

- 接続を開始する前に、すべての機器の電源がOFFになっていることを確認してください。
- すべての機器の音量を最小にしてから、機器の電源を入れてください。
- 本製品の電源を切るときは、周辺機器の中で最初にOFFにしてください。
- 本製品の電源を入れるときは、周辺機器の中で最後に電源を入れてください。
- ベストの音質を得るためには、HDMI (Ver.2.0) の使用を推奨します。
- テレビなどの音声信号をHDMI ARCを使用して本機に伝送する場合は、音声信号出力をPCM出力に設定してください。
- 本製品が効率的に放熱できるように、リアパネルのファンの排気口付近に物を置くなど、空気の流れを妨げないようにしてください。

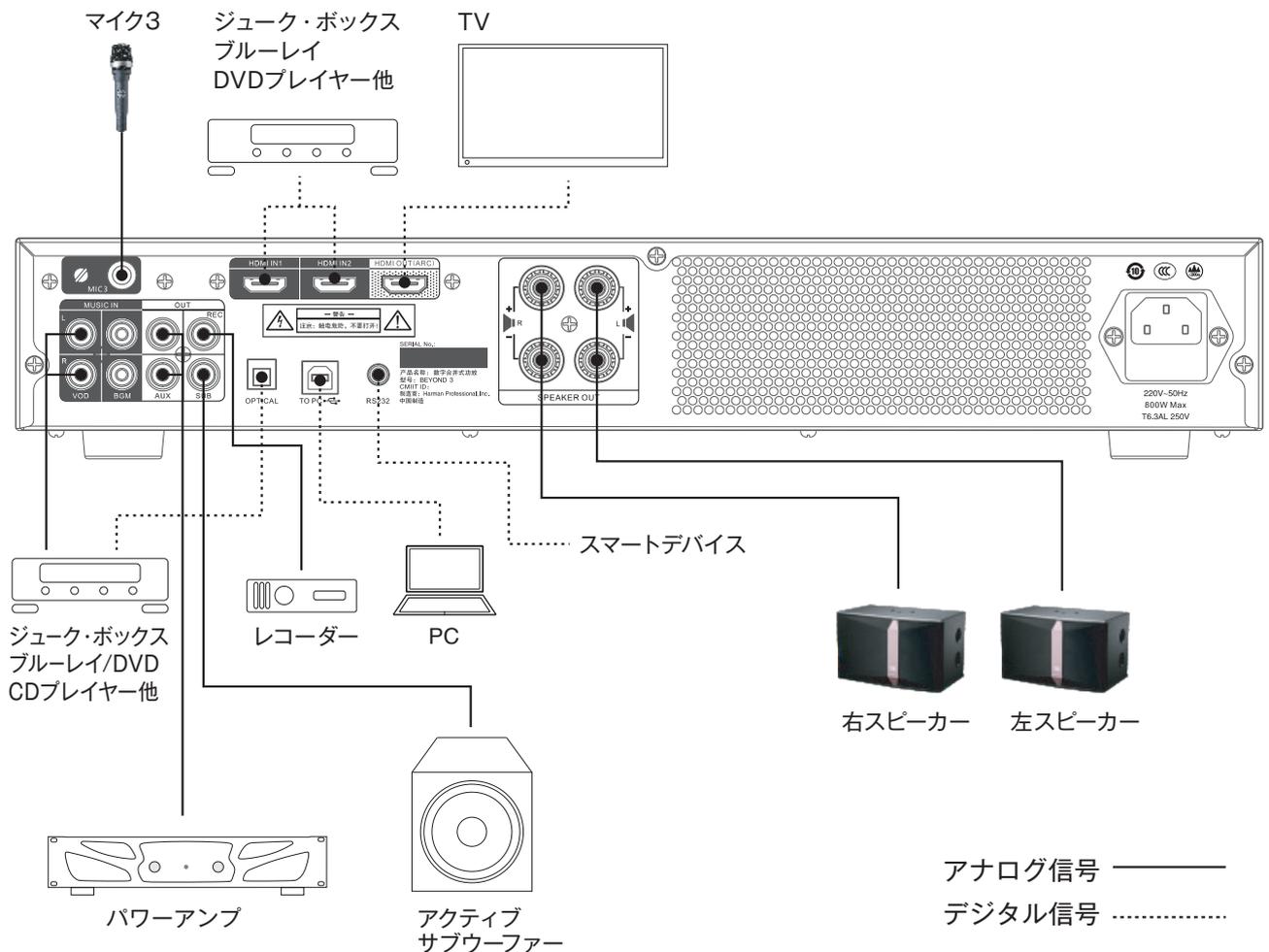
接続の仕方については次ページの「接続図」を参照してください

接続図

フロントパネル



バックパネル



製品仕様

入力		
音楽入力	USB	USB Type-A × 1
	ステレオ入力	RCA × 2
	HDMI 入力	HDMI × 2
	HDMI ARC 入力	HDMI × 1
	光デジタル 入力	オプティカルソケット × 1
マイク入力	1/4インチ・ジャック入力	6.35 mm × 3
出力		
HDMI出力		HDMI × 1
ステレオ出力		RCA × 2
録音出力		RCA × 1
サブウーファー出力		RCA × 1
スピーカー出力		スピーカー端子 × 2
コントロールポート		
USB (PCとの連携/制御用)		USB Type-B × 1
RS232		3.5mm ソケット × 1
仕様		
SN比	RCA入力、8Ω負荷、A特性	≥85 dB
	RSフォン入力、8Ω負荷、A特性	≥75 dB
周波数特性	RCA入力、8Ω負荷、1W、20Hz~20kHz	-1 dB ~ +1 dB
	RSフォン入力、8Ω負荷、1W、50Hz~14kHz	-3 dB ~ +1.5 dB
歪み (THD+N)	RCA入力、8Ω負荷、1kHz、定格出力、20Hz~20kHzの帯域幅	≤ 1 %
	TRSフォン入力、8Ω負荷、1kHz、定格出力、20Hz~20kHzの帯域幅	≤ 1 %
入力インピーダンス	RCA入力、f=1kHz	3.2 k Ω
	TRSフォン入力、f=1kHz	3.2 k Ω
定格出力	THD+N≤1%、8Ω負荷、1kHz	180 W × 2
USB再生	オーディオ・フォーマット	mp3、wav、ape、flac、wma
	ファイルシステム	FAT16、FAT32、ExFAT/FAT64
	最大容量	32G
Bluetooth	バージョン	V4.2/2.1+EDR
寸法	装置本体	42.8×31.5×7.6 cm
	梱包	51.0×44.0×17.0 cm
質量		5.2 kg
梱包質量		7.0 kg
電源		AC 100 V ~ 240 V、50/60Hz

メニュー構成

